

2025年度第1四半期 決算補足資料

2025年8月8日



2025年度 第1四半期決算のポイント

(単位：百万円)

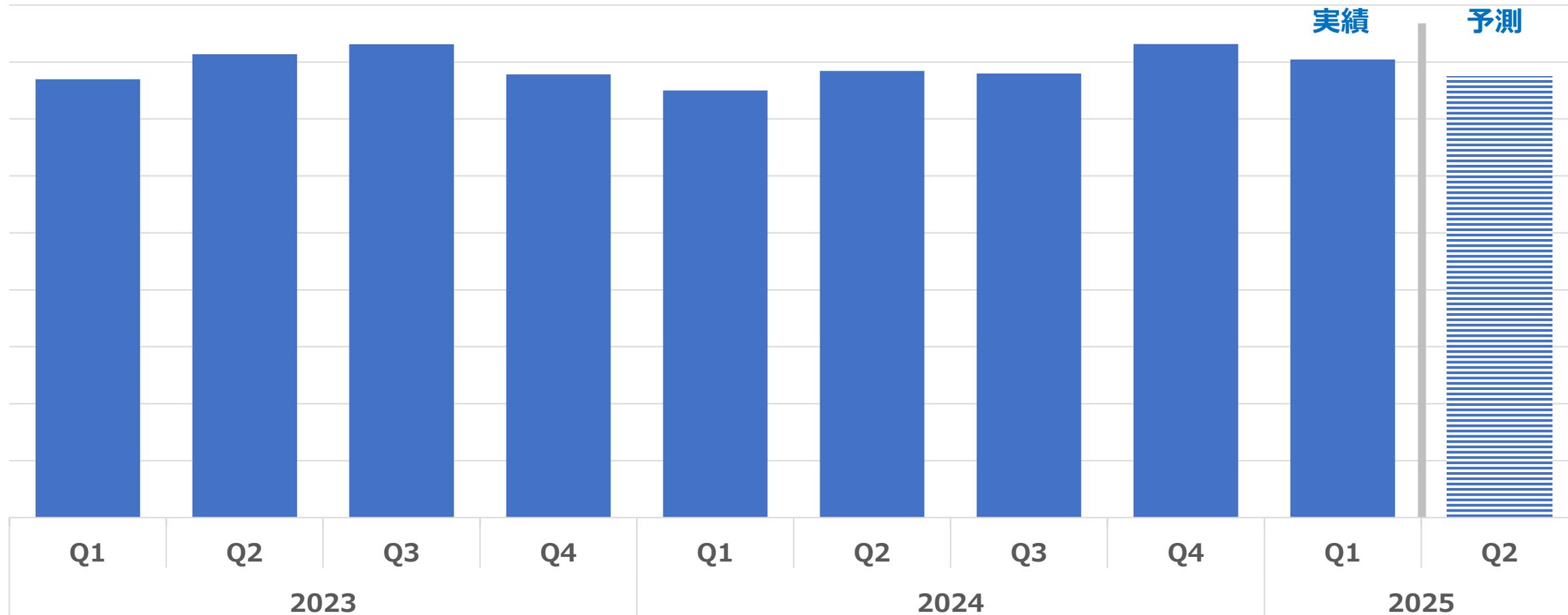
	2024年度				2025年度 1Q	対前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	38,403	39,792	41,392	43,342	42,914	+4,511
営業利益	101	△354	1,174	2,450	1,623	+1,522
経常利益	693	△1,229	1,640	1,940	1,289	+596
当期純利益	488	△3,184	1,008	△1,204	976	+488

《全体感》

- 売上高 : 主要顧客による自動車生産量の回復や、新規品の量産開始等により販売量増加(前年同期比7.3%増)
- 営業利益 : 販売量の増加や、前年度実施の生産体制の合理化及び生産性改善効果による基礎的収益力の向上に努めた結果に加え、一過性の収益計上も発生したことにより前年同期比で収益を大きく改善
- 当期純利益 : 為替差損等を計上するものの、営業利益の増加により増益

売上重量推移

国内を中心とした主要顧客の生産量回復や新規品の立ち上げ等により前年度下期から増加傾向
第2四半期は一部顧客の生産調整等により減少するが、概ね計画通りの水準を見込む



ダイカスト事業

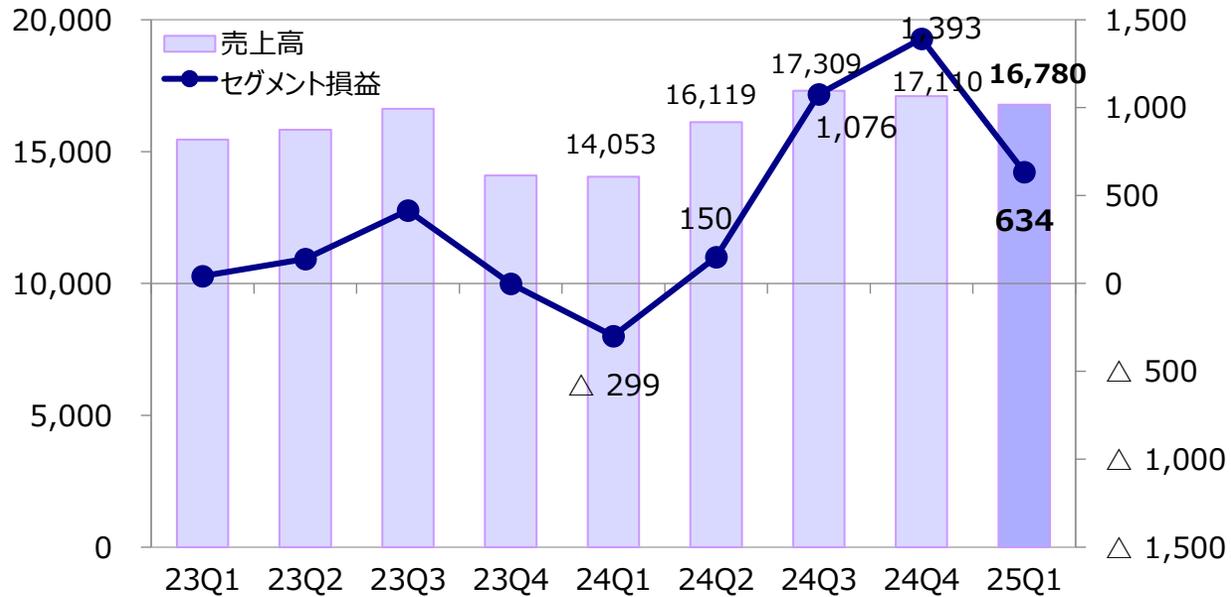
(単位：百万円)

		2024年度				2025年度 1Q	対前年同期比
		1Q	2Q	3Q	4Q		
日本	売上高	14,053	16,119	17,309	17,110	16,780	+2,727
	セグメント 損益	△299	150	1,076	1,393	634	+933
北米	売上高	13,053	12,336	12,384	11,931	14,141	+1,088
	セグメント 損益	298	△717	△706	△492	633	+335
アジア	売上高	8,710	8,511	8,097	11,216	9,234	+524
	セグメント 損益	252	4	277	1,277	55	△197

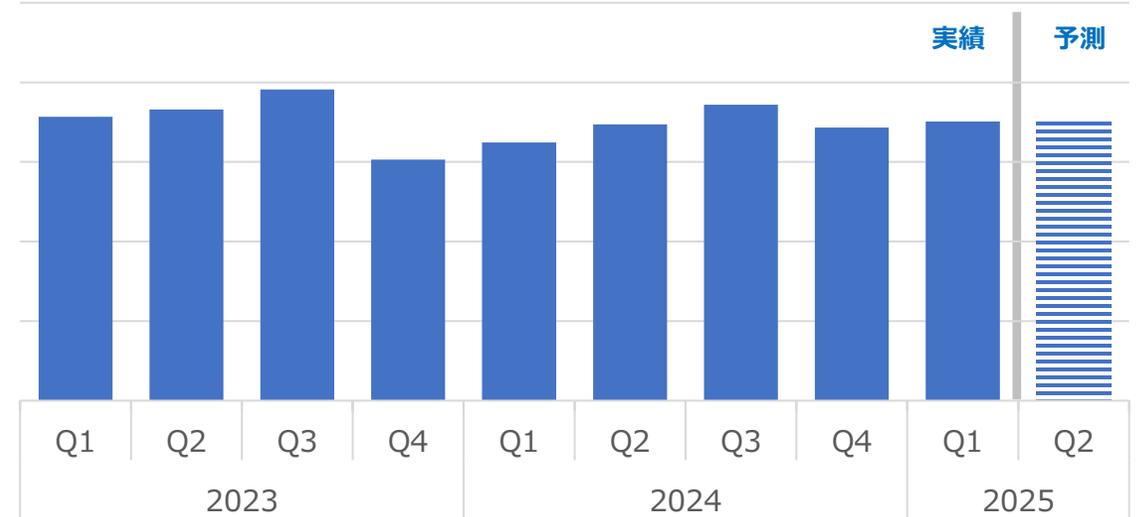
※ 北米セグメントのメキシコ工場及びアジアセグメントの中国2工場は12月決算となります。

ダイカスト日本

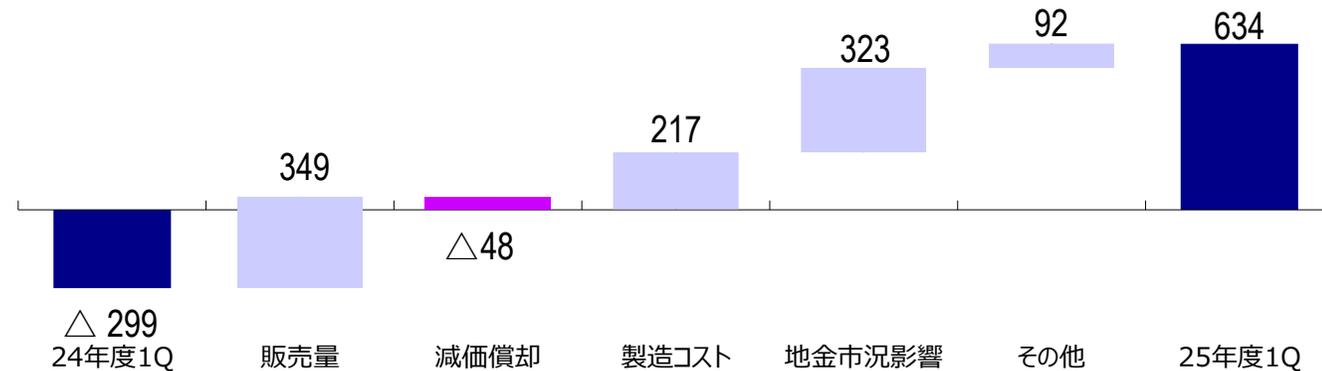
売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



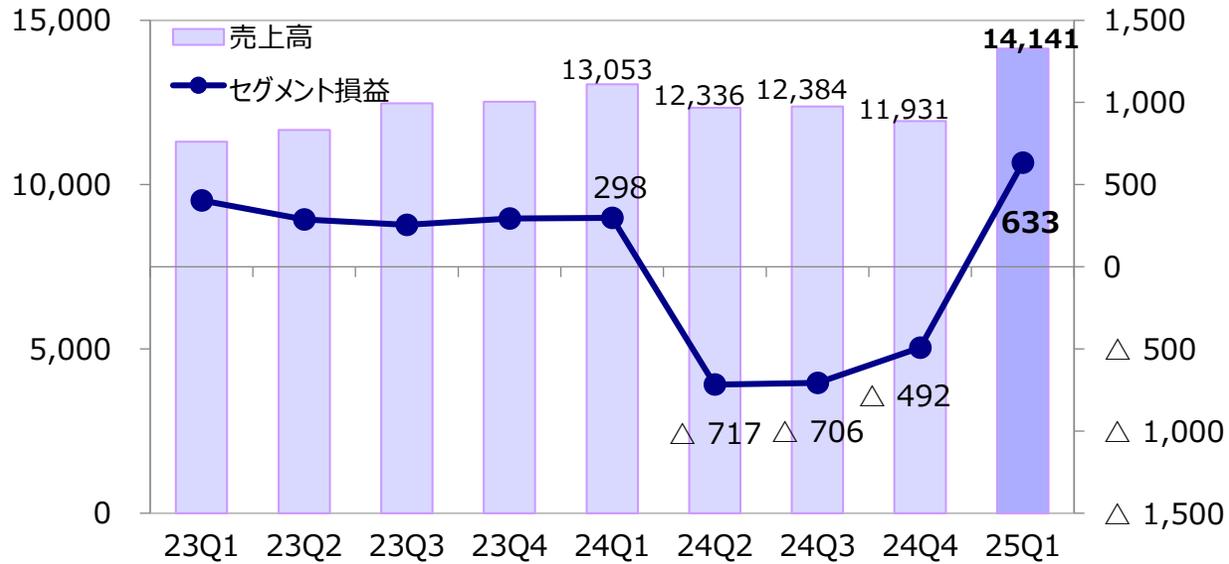
売上：167億円 前年同四半期比+27億円 (+19.4%)

損益：6.3億円 前年同四半期比 +9.3億円 (黒字化)

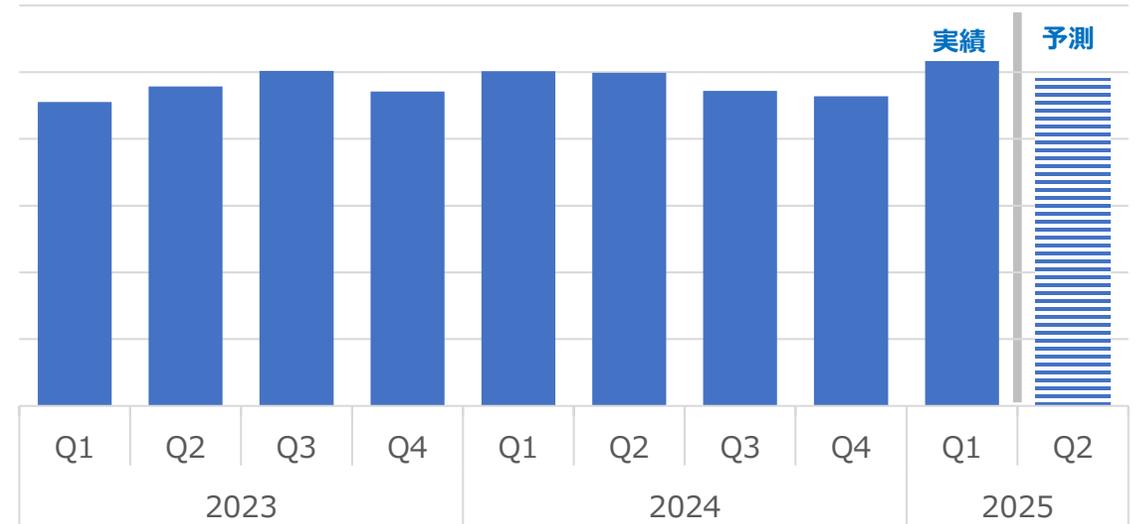
- 主要顧客の販売量増により増収
- 販売量の増加や前年度収益圧迫した地金価格高騰の平準化並びに前年度下期からの人員規模適正化等による製造コスト低減効果もあり、収益を大幅に改善

ダイカスト北米

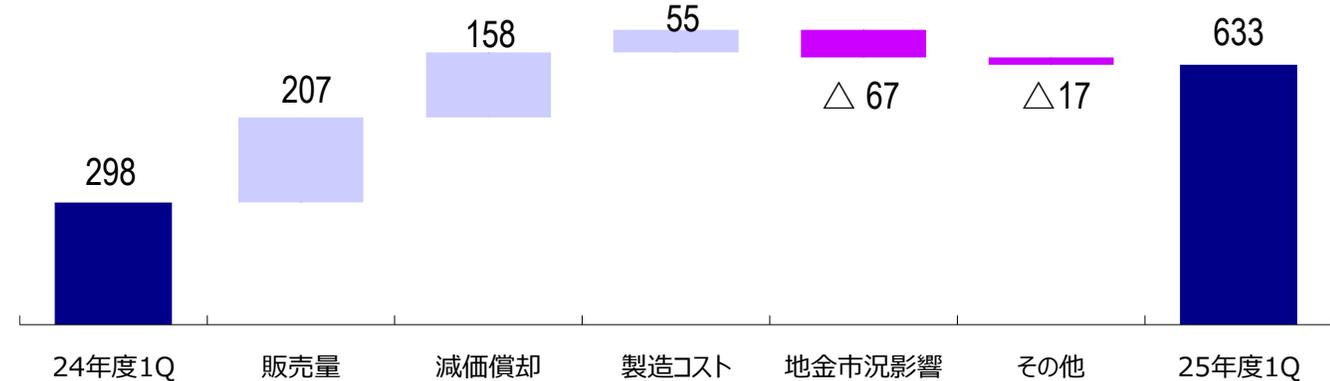
売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



セグメント損益増減要因 (単位:百万円)

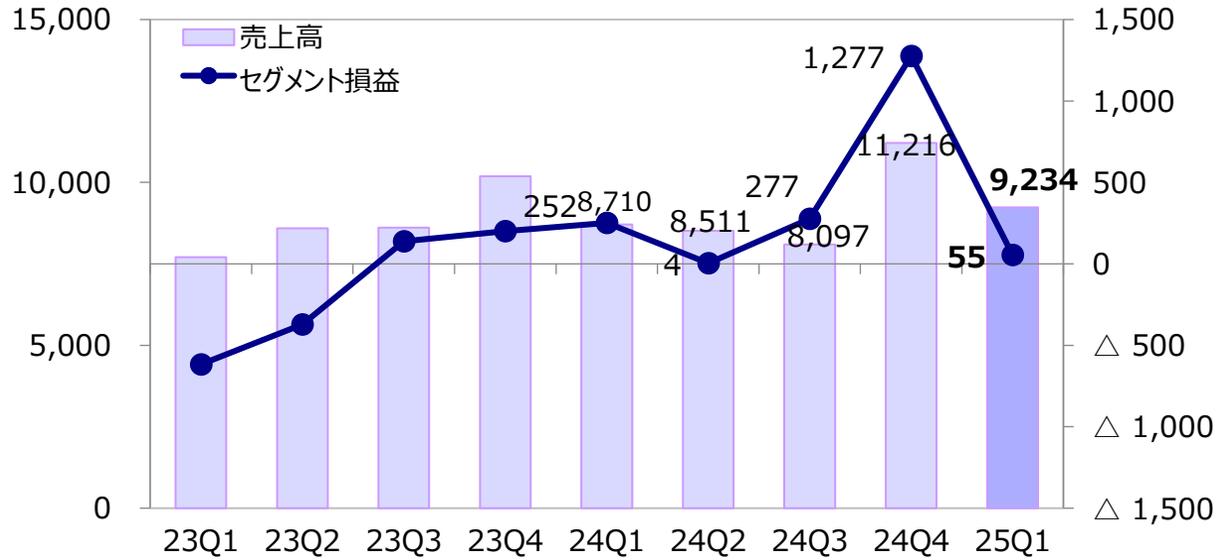


売上：141億円 前年同四半期比+10億円 (+8.3%)
損益：6.3億円 前年同四半期比 +3.3億円 (+112.3%)

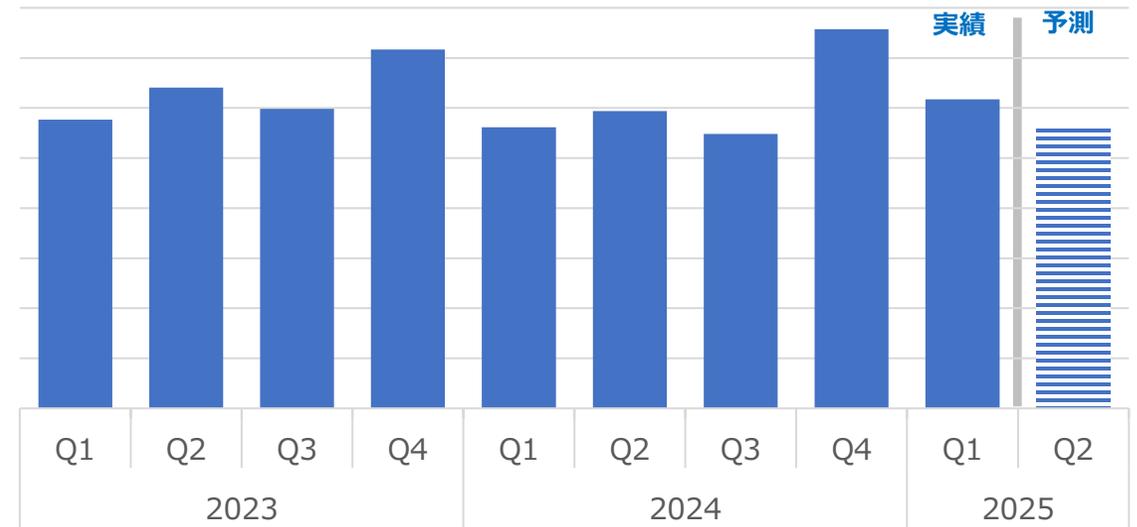
- 新規品の量産開始等による販売量の増加により増収
- メキシコ工場は引き続き堅調な利益を確保。前年度の減損損失計上による減価償却費低減効果もあり、収益拡大に寄与

ダイカストアジア

売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)

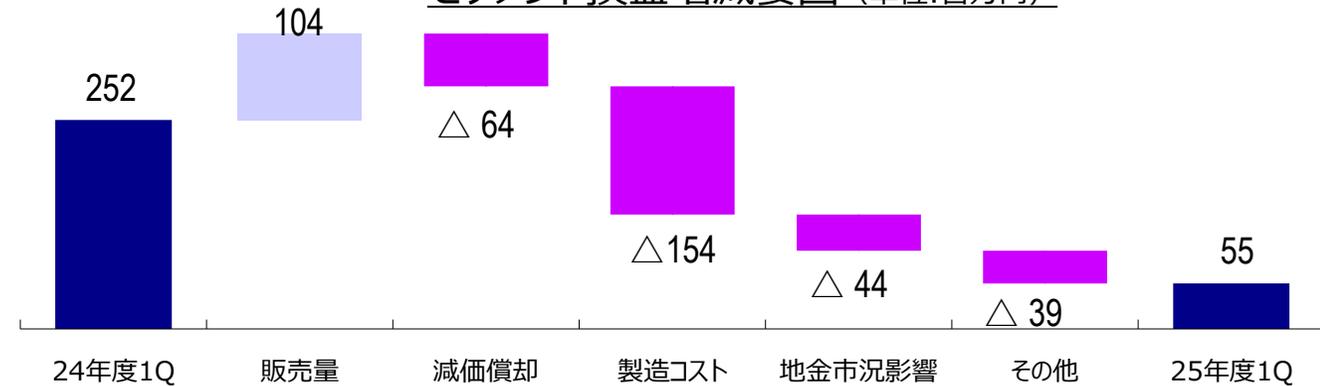


売上重量の推移



売上 : 92億円 前年同四半期比 +5.2億円 (+6.0%)
損益 : 0.5億円 前年同四半期比 △1.9億円 (△78.0%)
 ➤ 前年度4Qからの中資系顧客向け製品の量産開始等により増収
 ➤ 中国工場における前年度からの生産体制合理化による固定費削減効果は継続しているものの、インド工場において一部製品の生産が安定しないことに伴うコスト増などで減益

セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2024年度				2025年度 1Q	対前年同期比
		1Q	2Q	3Q	4Q		
アルミニウム 事業	売上高	1,699	1,767	1,860	1,886	1,640	△59
	セグメント 損益	15	55	92	64	64	+49
完成品 事業	売上高	887	1,058	1,741	1,200	1,117	+230
	セグメント 損益	19	160	389	228	163	+144

<アルミニウム事業>

- 売上：販売重量の減少（前年同四半期比△5.0%）に伴い減収
- 損益：販売重量は減少したものの、販売単価の上昇により増益

<完成品事業>

- 売上：主要販売先である半導体関連企業クリーンルーム物件の受注増により増収
- 損益：売上高の増加に伴い増益



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。